



天茶っ子

2025 年 5 月 29 日(木)

天下茶屋小学校

校長 清原良一

全身全霊！力をあわせてゴールを目指せ！

運動会では、どういうわけか赤白対抗です。なぜなのかというと、諸説あるようです。最も有力なのが、「源氏と平家」説なのだそうです。源氏と平家が戦った源平の合戦の時、源氏は白、平家は赤を旗印に旗印にしたため、今日でも力が似通った双方が勝負する場合、赤白が使われるようになったという説です。確かに、一本の木に赤白入り混じって咲いている花の咲き方を「源平咲き」と言ったりすることもありますね。それはともかく、力が似かよった者同士で競い合うことによって、互いの力を一層伸ばしあうことができます。赤白で行う運動会には、このような願いを込めています。さらに赤白に分けて、新しい集団をつくり、協力し合ったり、励ましあったりすることによって、連帯感・所属感を高め、人とかかわる力をつけていくと大きな意義があると捉えています。

さて「フェアプレイ」という言葉を聞いたことがありますか？スポーツするときに、ルールを守ってずるいことをせずに正々堂々と戦うことです。そして競技が終わったら、勝った方も負けた方も仲良く互いの健闘をたたえあうことです。「フェア」ということばは英語です。英和辞典でこの単語の意味を調べてみると「公平公正であること」とありました。イギリスの人たちは、この「フェア」という精神をととても大切にするそうです。地域や民間のサッカーやテニスクラブに入って頑張っているお友達もいますが、サッカーやラグビー、テニス、ゴルフはイギリスで生まれた競技で、そして「フェア」であることが何よりも優先されます。サッカーでは、試合中に相手チームの選手がけがをすると、ピッチからボールを蹴り出して試合を止めることがあります。これは正々堂々と戦おうとする気持ちの表れです。ラグビーでは、試合では激しく戦っても試合が終われば勝った方も負けた方も互いの健闘をたたえ合うという素晴らしい伝統があります。テニスでは審判をおかずに試合することがよくあります。ボールがコートに出たか入ったかは、プレーしている自分たちが判断するのです。勝ちたいからといって、互いに自分に有利なジャッジばかりしていたらテニスの試合は成り立ちません。ゴルフでは、何回打ってボールを穴に入れたか自分で申告します。嘘をついて実際よりも少なく申告すれば順位は上がるかもしれませんが、そんなことしたら軽蔑されてゴルフをする資格がないとみなされてしまいます。これらの競技では、すべてフェアの精神が基本になっているのです。

マナーを大切にした運動会に お願い

今年度の運動会も昨年同様午前中の実施となります。子どもたちの体力と危険レベルにある暑さによる熱中症対策のためです。また飲食の禁止、禁煙、観戦場所等保護者の皆様にはご負担をおかけしますが、どうかお互い様の気持ちでマナーのよい運動会になりますようご協力お願いいたします。皆様にマナーを守っていただくことが子どもたちにマナーの重要性を学ばせることになりますし、結果として子どもたちにはいい思い出ができるはずです。何卒よろしくお願いします。